

# 海外企業との提携により、着実な取組を (バイセン 株式会社)

## 会社概要(平成25年1月現在)

- 所在地: 兵庫県神戸市中央区港島南町1-5-6  
神戸大学インキュベーションセンター401
- 代表者: 千田 廉
- 資本金: 9,492万円
- 売上高: 5,400万円
- 従業員数: 5名
- URL: <http://www.bycen.co.jp/>

## ①事業概要

### ＜無線型加速度センサシステム製造・販売＞

バイセン株式会社は、代表取締役社長の千田氏が、神戸大学よりスピニアウトした大学発ベンチャー企業である。神戸大学農学部で脳と行動の関係を研究していた千田社長は、行動を数値化・定量化する装置を開発し、それを広く世の中に役立てたいと起業した。

同社の代表商品である行動定量化ツール「レグログ」は、人間や動物の身体に装着し、行動をわかりやすくリアルタイムにグラフへ映し出すことが可能な無線型加速度センサシステム。病院のリハビリの現場等で多く使われており、軽くて小さいため、誰でも簡単に装着できる。リハビリに励む患者にとって、自身の歩行が可視化されることにより、自らの歩行をどう正せばよいのかわかりやすくなるため、モチベーションの向上にも繋がっている。

## ②海外展開概要

### ＜北米への販路開拓＞

平成20年度に、同社の無線加速度センサを活用した健康管理の実証実験が、経済産業省の「情報大航海プロジェクト」に採択され、九州大学をはじめ、数社の企業とコンソーシアムを組んで実施した。それまで、運動量データを計測できる機器としては万歩計ぐらいしかなかったが、同社の「行動計」の活用により、生活習慣の行動データの計測が可能となった。装着した人が今立っているのか、横になっているのか、歩いているのか等がグラフを解析することにより分かり、装着している人に対して、リアルタイムの行動アドバイスが可能。この実験の過程で、カナダのアルバータ州とつながりができ、平成23年3

月に、アルバータ州政府を通じて、アルバータ大学の、某スピニアウトベンチャー企業からコンタクトがあった。同州では、人口に対する糖尿病患者の割合が年々高まり、州政府をあげて糖尿病対策に取り組んでいるところ、同社の「行動計」を利用して、センサーにより装着者の行動を定量化し、iPhoneやブルー투스機能の活用により、情報をリアルタイムで医療機関に送信し、糖尿病対策に役立てることを目指している。

## ③取組の重点(活用した支援策を含む)

同社の製品は、案件ごとにデータ収集、ソフトウェアの開発等が必要であり、最終製品の販売まで時間を要する。しかし、海外からのオファーの機会をとらえ、公的機関も交えて先方との提携関係を確実なものとする事により、長期にわたる取組を可能としている。

カナダ企業との提携により、同社製品の北米販路開拓が可能となる点、また、カナダ企業の製品を当社が日本国内で販売できる点もメリットと考え、取組中。

## ④今後の事業展開について

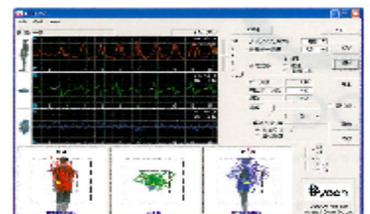
平成23年9月、カナダ大使館において、同社にとって初めての海外企業との提携となる業務提携調印式を行い、本格的に海外市場でのチャレンジを開始した。

カナダ人の行動の特性に関するデータを共同で収集してソフトウェアを完成させ、現在、カナダでの市販を目指して、センサーデバイスの製造の準備を進めているところ。

また、その他の外国企業から販売代理店契約の話もあり、このような提携を活用して積極的に海外市場開拓を行っていく予定。



▲「レグログ」は小さく、誰でも装着しやすい



▲ モニターでリアルタイムに確認可能

(平成25年1月現在)

データ出所: 近畿経済産業局